

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		フランス語II A F2105 Intermediate French A				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 堀 晋也			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火4		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
フランス文化											
時事フランス語をテーマとし、読解を通してフランス語圏の社会・文化の「いま」についての理解を深めることを目的とする。 イントロダクションとして比較的平易なフランス語で書かれた教科書の文章を読んで概要を把握し次にインターネット上に公開されている関連の記事・文書（前期は比較的短いものとする）を読み進めることで当該テーマに対する理解を深めていく。理解の補助となるように、適宜ニュース映像なども紹介する。 前期の授業では必要に応じて文法の解説も行い、初級の授業で学習した内容の定着も目指す。											
【到達目標】											
初級で学習した文法知識を活用した読解力の養成と同時にフランスの社会・文化のさまざまな側面についての基本的な知識を習得する。											
【授業計画と内容】											
教科書のテーマに沿って講義を進め、受講者には毎回の授業でパラグラフごとの日本語訳を発表してもらう。											
第1回 表現の自由（イントロ） 第2回 表現の自由（関連文書の読解） 第3回 生地主義（イントロ） 第4回 生地主義（関連文書の読解） 第5回 フランス人そしてユダヤ人であること（イントロ） 第6回 フランス人そしてユダヤ人であること（関連文書の読解） 第7回 フランスにおける死刑廃止（イントロ） 第8回 フランスにおける死刑廃止（関連文書の読解） 第9回 フランスの経済学者たち（イントロ） 第10回 フランスの経済学者たち（関連文書の読解） 第11回 食料の浪費（イントロ） 第12回 食料の浪費（関連文書の読解） 第13回 主日の安息（イントロ） 第14回 主日の安息（関連文書の読解）											
【履修要件】											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
【成績評価の方法・観点】											
評価方法は平常点（50パーセント）と期末テスト（50パーセント）とする。											
平常点としては発表の内容を評価する。直訳ではなく自然な日本語訳であることを重視する。出席 フランス語II A F2105(2)へ続く↓↓↓											

フランス語ⅡA F2105(2)

は評価の対象としないが、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。

期末テストは前期に扱ったテーマの関連記事・文書（初見のもの）から出題し、その要約を求める（辞書の持ち込みは可）。

【教科書】

加藤晴久，ミシェル・サガズ『時事フランス語2017年度版』（朝日出版社）ISBN:978-4-255-35279-4（教科書の後に読む関連の記事・文書については授業中に配布する。）

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業で発表を求めるため、予習していることを前提とする。あらかじめ分担を決めることはないので、必ず全文に目を通しておくこと。

【その他（オフィスアワー等）】